

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	愛知県	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	愛知県文化遺産活用事業	【計画の改善時期】 平成 31 年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>我が国の中央に位置する本県は、モノづくりを中心とした魅力ある観光資源を有するとともに豊かな自然と優れた文化遺産が多数存在している。こうした文化遺産を活用し、本県の魅力を向上させるためにも、県民一人ひとりが文化遺産に対する理解を深めるとともに、地域の住民が誇りと愛着を持つことのできる、活力に満ちた地域社会の実現が大切である。</p> <p>こうした状況を踏まえ、次の事業を実施する。</p> <p>(1) あいちヘリテージマネージャー事業 (2) 愛知県国登録有形文化財公開活用事業 (3) あいち山車文化活性化事業 (4) 中京歴史文化遺産事業（平成 29 年度までは日本の伝統文化をつなぐ事業）</p>			
6 実施体制			
<p>本事業については、愛知県が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な担当課：教育委員会生涯学習課文化財保護室 ・役割：文化財の取扱等及び「5 実施計画の概要」における(1)(2)(3)(4)に関する指導・調整等 <p>また、事業については、次の団体が実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県文化遺産活用事業実行委員会（事務局：教育委員会生涯学習課文化財保護室） ・構成団体：あいちヘリテージマネージャー養成講座実行委員会（委員長 柳澤講次） 愛知県国登録有形文化財公開活用実行委員会（委員長 佐地秀明） あいち山車まつり日本一協議会（会長 大村秀章愛知県知事） 日本の伝統文化をつなぐ実行委員会（実行委員長 大西文一郎） 			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成 30 年度交付決定額： 167,618 千円	平成 31 年度申請額： 26,093 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

【あいちヘリテージマネージャー事業】

1. あいちヘリテージマネージャー育成事業

- (1) 建築士を対象に養成講座を実施し、その修了者の内希望する者は「あいちヘリテージ協議会」に登録し、協議会の会員として情報交流を行い、文化財建造物の保存と活用に向けた活動を行っている。登録者についても、継続的にレベルアップ講習を実施することにより、実務能力の向上を図り、より実践的な「協議会」の会員として情報交流と、歴史的建造物の保存・活用に向けた活動ができるようになる。
- (2) 愛知ヘリテージマネージャーの役割としては、以下を目指す。
 - ① 愛知県全域で未だ登録されていない文化財建造物を発見し、国の登録有形文化財建造物としての登録を目指すこと、更にそのための基礎資料作成に協力する。
 - ② 県内の文化財建造物（県指定・国指定）について、維持管理・修理・活用・保存及び活用における計画づくり等において、所有者を支援する。
- (3) 本事業において養成された人材の活躍により、県内の文化財建造物が新たに発見され、文化財としての保存が進み、有効活用を図ることができるので、文化財建造物を活かしたまちづくりに寄与することができる。また、こうした文化財建造物を活用したイベントの実施件数が増えることで、その建造物を中心とした地域の歴史と伝統文化を大切にする市民意識を醸成することができる。

2. 地域の歴史的建造物を守る防災意識向上事業（平成30年度から別途事業）

- (1) 本事業により、県内の歴史的建造物の現況と所在位置が把握でき、災害時の応急危険度判定時等に活用できる。また、歴史的建造物が多く残る町並みの成立の背景と現状及び歴史的建造物の災害や維持管理の状況が把握され、その調査結果を発表し、必要な防災についての講演会を実施することにより、文化財に対する地域住民の防災意識が向上することとなる。そうした意識を、歴史的建造物を含めた防災のシステム作りに発展させる過程で、地域の活動を活性化する手がかりとなることが期待できる。さらに、「歴史的建造物保存活用の手引き」を活用して、歴史的建造物の保存活用のための基礎資料を作成することにより、歴史的建造物の効果的な保存活用ができる。また、歴史的建造物の所有者に対する意識啓発活動を行うことにより、所有者に対し、所有している建物の地域における必要性や地域との連携を意識させ、新たなコミュニケーションづくりや文化財の有効な保存・活用につながる。県内の歴史的建造物の現況及び所在を把握することにより、激甚災害時の保護・保存の活動につなげることができる。また、この活動の際、上述のヘリテージマネージャーの活躍が期待できる。

【愛知県国登録有形文化財公開活用事業】

1. 愛知県登録有形文化財魅力紹介冊子

登録有形文化財の魅力をもつ1つの建造物としてだけでなく、関連する建造物をあわせて紹介することによってその魅力をさらに深く知ることができ、登録有形文化財に対する関心が高まることが期待できる。さらに、関連する施設で登録有形文化財になっていない建造物に対する認識が高まり、登録に結びつくことが期待できる。

2. 文化財ガイド育成事業

文化財ガイドに関するノウハウが蓄積されるとともに、文化財の公開活用に対する意識が高まり、特別公開などにおける建物解説やボランティアスタッフとしての参加が期待できる。さらに、地域別に開催することで、地域での専門家のネットワーク形成につながる。こうした地域の専門家集団の働きかけにより、新たな登録文化財等の公開活用が進むことが期待できる。

3. 登録文化財魅力体験「特別公開事業」

歴史的建造物に関心を持っている多くの人に登録文化財を見てもらうことにより、所有者がその価値・魅力を再認識する機会となり、所有者自身による公開活用につながることを期待できる。また、多くの県民に登録文化財の魅力を経験する機会を提供することによって、それらの価値を認識し、保存継承の支援者となることを期待できる。

4. 登録文化財保存活用シンポジウム

シンポジウムでの議論を通じて、所有者、専門家、県民がお互いの役割を認識する場となり、互いの連携が期待できる。また、多様な講師を県外から招くことにより、県外で活用する団体とのネットワークを形成する機会ともなる。広域的な連携を図ることは、近い将来必ず発生するといわれている大地震による文化財建造物の被害に対し、修復の支援体制を構築する上でも重要である。

【あいち山車文化活性化事業】

「あいち山車文化魅力発見講座」を実施することによって、愛知県の山車文化、山車まつりに関心を持つ方が増加する。講座修了後は受講者を対象に、「山車まつり応援者」を募集し、山車まつり、イベント等の情報発信のお手伝いをしていただき、更なる魅力発信、普及啓発につながる。

また、「山車文化こども伝承講座」を実施することによって、こどもたちへ愛知県の山車文化、地域の山車文化に触れる機会を提供し、将来の祭の担い手や、郷土愛を育む第一歩として寄与することができる。

その練習の成果を「山車文化こども芸能大会」において、こどもたちが披露することにより、愛知県の山車文化をより身近なものに感じるこどもが増え、人材育成、後継者育成にもつながる。

【中京歴史文化遺産活性化事業】（平成 29 年度までは日本の伝統文化をつなぐ事業）

1. 中京歴史文化遺産情報発信事業

平成 29 年度までは特にホームページ等は作成していなかったが、昨今の SNS の影響力を受け、尾張徳川文化に関する文化遺産紹介ホームページを作成することで、国内外の方々や幅広い世代に認知してもらうことができる。また、看板の設置により、より多くの方々に文化遺産に足を運んでもらえることができる。

2. 尾張徳川文化養成ボランティアガイド事業

昨年度までは文化財を、伝統芸能を通じて新たな見方を発信してきたが、この地域の特色である尾張徳川文化のボランティアガイドを養成することで、知られきれていないこの地域の魅力を地域住民から発信することができる。そして、地域住民から発信されることにより、住民が地域に「誇り」を持つことができ活性化が期待できる。

3. 中京歴史文化遺産普及事業

中京歴史文化遺産普及啓発事業を、文化財の所在地（平成 31 年度は北名古屋市の高田寺や瀬戸市など）にて行う活動と、アクセスの良い愛知県中心部（名古屋市）にて行う活動、両方を行うことによって、文化遺産の活用と、地域文化の魅力を深めていただくことができる。また、尾張徳川文化スタンプラリーによって、新たな層に各文化遺産に足を運んでもらえ、新たな活性方法が生まれることを期待することができる。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）	
事業概要：	全国の登録有形文化財所有者のネットワーク構築に向けた全国登文会フェスタの開催 （2018年度「公益信託大成建設自然・歴史環境基金」助成金）
事業概要：	
事業概要：	
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
特になし	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	あいちヘリテージマネージャーへ登録して活動する人数	関連事業:		①⑩		
目標値 1 :	平成 28 年度	127 名	⇒	平成 33 年度	247 名	
設定根拠 1 :	あいちヘリテージマネージャー養成講座を修了し活動する意欲のある人を登録する。毎年30人の登録を目指す。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
127 名	139 名					
0%	10%					
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会Facebookへの「いいね」の数	関連事業:		②③④⑤		
目標値 2 :	平成 28 年度	400 件	⇒	【目標値】平成 33 年度	2,000 件	
設定根拠 2 :						
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
527 件	708 件					
8%	19%					
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	あいち山車まつり日本一協議会 会員数(団体・市町)	関連事業:		⑥⑦		
目標値 3 :	【現状値】平成 28 年度	101 会員	⇒	【目標値】平成 33 年度	151 会員	
設定根拠 3 :	協議会の会員数(団体・市町)の増加により、県内の山車文化の魅力を発信する機会が増えるとともに、会員(団体・市町)同士のネットワークが強固なものになると考えられる。毎年10会員(団体・市町)の新規加入を見込む。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
104 会員	110 会員					
6%	18%					
目標区分 4 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 4 :	文化遺産が所在する最寄駅の乗降者者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	知立駅、有松駅、大曾根駅の合計乗降者数	関連事業:		⑧⑨⑩⑫		
目標値 4 :	【現状値】平成 28 年度	15,670,729 人	⇒	【目標値】平成 33 年度	15,700,729 人	
設定根拠 4 :	(仮)尾張徳川文化スタンプラリーにより、新しい層に各文化遺産に足を運んでもらうことができる。各年約10000人増加を見込む。					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
20,360,512 人	8月頃確定予定 人					
15633%	#VALUE!					

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①:	あいちヘリテージマネージャ育成事業					実施団体:	あいちヘリテージマネージャ養成講座実行委員会				
事業区分:	人材育成					事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要:	対象を建築士とし、地域の中でいまだ知られることのない文化財建造物の発見、既指定・未指定等の文化財建造物の保存と活用により、まちづくりに活かす能力を持った人材を育成する。										
評価指標区分:	・ヘリテージマネージャ養成講座修了者によるヘリテージ活動件数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標:	歴史的建造物の現況調査件数										
目標値:	平成 28 年度 408 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 800 件										
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
511 件	589 件	件	件	件	件						
26%	46%										
事業②:	愛知県登録有形文化財魅力紹介冊子					実施団体:	愛知県国登録有形文化財公開活用実行委員会				
事業区分:	情報発信					事業期間:	平成 30 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要:	地域の文化財を網羅的に紹介するコンテンツの1つとして、テーマ別に愛知県内の登録有形文化財を紹介する小冊子を作成する。										
評価指標区分:	・SNS上の情報発信の「いいね」の数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標:	愛知登文会facebookページへの「いいね」の件数										
目標値:	【現状値】 平成 29 年度 527 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 2,000 件										
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
件	708 件	件	件	件	件						
	12%										
事業③:	文化財ガイド育成事業					実施団体:	愛知県国登録有形文化財公開活用実行委員会				
事業区分:	人材育成					事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要:	県内4か所において、地域で活動する建築の専門家を対象に文化財ガイドの方法に関する講習を行う。地域固有の特徴ある登録文化財を対象にガイドツアーを実施し、その方法を学ぶとともに、参加者同士の経験を紹介しあう場を設ける。										
評価指標区分:	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標:	特別公開における建物解説やボランティアスタッフ経験者数										
目標値:	【現状値】 平成 28 年度 56 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 100 人										
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
72 人	95 人	人	人	人	人						
36%	89%										

事業④：	「登録文化財魅力体験」特別公開事業					実施団体：	愛知県国登録有形文化財公開活用実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	登録文化財の所有者の協力を得て、普段公開されていない登録文化財の公開や所有者・専門家による建物解説を行い、地域住民をはじめとした愛知県民に対して登録文化財の魅力を経験してもらえる場所を提供する。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	愛知県国登録有形文化財所有者の会facebookページへの「いいね」の件数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 400 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 2,000 件										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
527 件	708 件	件	件	件	件						
8%	19%										
事業⑤：	登録文化財保存活用シンポジウム					実施団体：	愛知県国登録有形文化財公開活用実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	地域固有の文化遺産の現状・課題について考え、未来を展望する場として、登録文化財の所有者や専門家、登録文化財の保存活用に関心を持つ市民を対象に、保存活用にあたっての課題を乗り越えるための情報を提供し、意見交換を行うシンポジウムを4回開催する。										
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会への新規入会者数										
目標値：	平成 28 年度 13 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 20 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
8 人	12 人	人	人	人	人						
-71%	-14%										
事業⑥：	ホームページ制作・公開事業					実施団体：	あいち山車まつり日本一協議会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	愛知県の山車文化の魅力を発信するため、ホームページ（愛知県の山車まつりポータルサイト あいちの山車まつり https://www.dashi-aichi.jp/ ）を制作・公開し、県内外、国内外に情報を発信する。（山車まつり及び山車の概説、個々の山車及び山車まつりの紹介、山車検定等、日本語・英語、中国語、韓国語対応、PC・スマートフォン対応。										
評価指標区分：	・ホームページ閲覧数（PV数）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	年間のホームページビューページ数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 ページ ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 100,000 ページ										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
13,652 ページ	150,751 ページ	ページ	ページ	ページ	ページ						
14%	151%										

事業⑦:	あいち山車文化魅力発見講座					実施団体:	あいち山車まつり日本一協議会				
事業区分:	普及啓発					事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要:	愛知の山車文化に興味・関心のある方を対象に愛知の山車まつりに関する公開講座を実施する。講座終了後「山車まつり応援者」(SNS等での山車まつりの情報発信、事務局への山車まつり参加の感想、写真の提供等をする方)を募集し、山車まつりの普及・啓発に寄与していただく。										
評価指標区分:	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標:	あいち山車まつり応援者の登録者数										
目標値:	【現状値】平成 28 年度 0 人 ⇒ 【目標値】平成 33 年度 100 人										
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
16 人	22 人	人	人	人	人						
16%	22%										
事業⑧:	中京歴史文化遺産情報発信事業					実施団体:	日本の伝統文化をつなぐ実行委員会				
事業区分:	情報発信					事業期間:	平成 30 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要:	県内に点在する各文化遺産の所在地及びアクセス方法を一同に記載した看板(アクセスマップにないような看板)を各地点に配置し、愛知県の文化遺産(主に明治維新150年を機に尾張徳川家に関連の強いもの)を紹介した新規ホームページを作成する。										
評価指標区分:	・ホームページ閲覧数(PV数)					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標:	愛知県の文化遺産(主に明治維新150年を機に尾張徳川家に関連の強いもの)を紹介した新規ホームページの閲覧数										
目標値:	【現状値】平成 29 年度 0 PV ⇒ 【目標値】平成 33 年度 40,000 PV										
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
PV	25,395 PV	PV	PV	PV	PV						
	63%										
事業⑨:	尾張徳川文化養成ボランティアガイド事業					実施団体:	日本の伝統文化をつなぐ実行委員会				
事業区分:	人材育成					事業期間:	平成 30 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要:	尾張徳川文化を紹介できるボランティアガイドを養成し、ガイドを実施する										
評価指標区分:	・ボランティアガイド利用者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標:	本講座修了者のボランティアガイドの利用者数										
目標値:	【現状値】平成 29 年度 0 人 ⇒ 【目標値】平成 33 年度 27 人										
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	0 人	人	人	人	人						
	0%										

事業⑩：	中京歴史文化遺産普及啓発事業	実施団体：	日本の伝統文化をつなぐ実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度	～	平成 32 年度	
事業概要：	県内 5 会場でそれぞれの文化遺産を紹介する展示会や講演会、演奏会などを開催する。					
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	主な会場最寄駅である、地下鉄名城線「市役所駅」、地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」の合計乗者数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 12,859,187 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 12,889,187 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	8月頃確定予定 人	人	人	人	人	
	#VALUE!					
事業⑪：	地域の歴史的建造物を守る防災意識向上事業(H30から別途事業)	実施団体：	愛知県教育委員会			
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 29 年度	～	平成 29 年度	
事業概要：	地域の歴史的建造物について、現況調査による激甚災害時の文化財レスキュー活動等に必要データの作成と、調査の成果発表や講演等の実施により、地域住民の文化財に対する防災意識の向上を図る。					
評価指標区分：	・ヘリテージマネージャー育成講座修了者によるヘリテージ活動件数	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	歴史的建造物が多く残る町並みの調査結果の発表会と講演会への参加住民数					
目標値：	平成 28 年度 239 名 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 269 名					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
248 名	H29年度で終了 名	名	名	名	名	
30%						
事業⑫：	地域の街道文化一名所復活と普及啓発	実施団体：	日本の伝統文化をつなぐ実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度	～	平成 33 年度	
事業概要：	愛知が誇る山車まつりより、ユネスコ無形文化遺産の登録を受けた五つの祭・山・鉦・屋台行事を(各年度一つずつ)紹介するとともに、日本の歴史文化と地域の融合、活性を図り、文化遺産の普及啓発をする。					
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	地域の駅の乗降者数。各年ごとに取り上げる事業の地域の駅の乗降者数。 平成29年度は名古屋鉄道知立駅(目標値は本事業により知立駅の5年間の目標)					
目標値：	平成 28 年度 11,420,000 名 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 11,511,360 名					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
12,196,110 名	8月頃確定予定 名	名	名	名	名	
850%	#VALUE!					